

平成30年度 宮古北高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

取組内容

現状

- ・ 学校生活に充実感 7割
- ・ 一部職員の帰宅時間が遅い。
- ・ 業務量の偏りがある。

① 教職員の負担軽減

- ・ 会議資料の事前配付・ 論点明示により、会議の進行を速やかにする。
- ・ 校内ネットワークの活用により、情報共有を効率化する。
- ・ 校務分掌の担当業務を検証し、統合集約を図る。
- ・ 生徒指導・ 教育相談について、積極的に外部組織との連携を図る。

② 教職員の健康確保等

- ・ 管理職が、仕事と生活の調和について意識喚起する。
- ・ 部活動指導の時間管理を徹底する。
- ・ 管理職が面談し、メンタルヘルスの確認、情報提供を積極的に行う。

目指す姿

- ・ ライフワークバランスを意識する。
- ・ 管理職が適切に教職員を支援する。
- ・ 業務を援助しあえる関係性を築く。

目標

- ・ 時間外勤務 80時間以上 ↓ 0人
 - ・ 定時退庁 ↓ 週1回以上
 - ・ 学校生活に充実感を感じている
- 教職員 ↓ 8割